

# [Python] Django 管理サイトのカスタマイズ（表示面）

Python Django

この記事は最終更新日から1年以上が経過しています。

## この記事について

---

Django の管理画面のカスタマイズ方法です。

表示面の修正方法となります。

機能のカスタマイズについては以下のエントリの方を参照してください。

[Django 管理画面逆引きメモ](#)

# 1. タイトルを変更する

見出し部分は軽微な修正で変更可能です。

プロジェクトのurls.pyに以下のコードを入れます。

project/urls.py

```
from django.contrib import admin
from django.urls import path, include

# 追加
admin.site.site_title = 'タイトルタグ'
admin.site.site_header = 'サンプルアプリケーション'
admin.site.index_title = 'メニュー'

urlpatterns = [
    path('admin/', admin.site.urls),
    path('', include('app.urls')),
]
```

## 変更後の画面

※この他タイトルタグも変更されている



## 2. CSSを変更する

adminのcssを上書き指定することでデザインの変更ができます。

手順 1. staticフォルダを追加

プロジェクト直下にstaticフォルダを作成し、設定ファイルに以下の項目を追加します。

setting.py

```
STATICFILES_DIRS = (  
    os.path.join(BASE_DIR, 'static'),  
)
```

## 手順 2. adminのstaticリソースをコピー

作成したstaticフォルダに /contrib/admin/static のadminディレクトリ以下を全てコピーします。Ver2.0.3ではこのような構造になります。

project-root

```
└─static  
    └─admin  
        ├──css  
        │   └─vendor  
        │       └─select2  
        ├──fonts  
        ├──img  
        │   └─gis  
        └─js
```

```
└─admin
└─vendor
    └─jquery
    └─select2
    |   └─i18n
    └─xregexp
```

試しに `static/admin/css/base.css` を変更してみます。

base.css

```
/* 823行目付近*/
#header {
    width: auto;
    height: 40px;
    padding: 10px 40px;
    background: #ff69b4; /* 元は417690(青) */
    line-height: 40px;
    color: #ffc;
    overflow: hidden;
}
```

無事に色が変わりました。あとは変更したい部分を探して更新するだけです。



サンプルアプリケーション

ユーザー名:

パスワード:

ログイン

この設定方法は「**templateとstaticは、同名のリソースが定義された場合、先に定義された方を採用する**」というDjangoの仕様に基づくものです。管理サイトアプリが使うリソースを管理アプリより先に同名で定義することで読み込むリソースを変更させます。

※同名とは「*static*」以下のパス名が同じことを指す。

staticファイルの定義順はターミナルで `manage.py findstatic admin/css/base.css` と打ち込むことにより確認できます。

## 3. テンプレートを変更する

同様の方法でテンプレートの変更も可能です。

プロジェクトの直下に「templates」フォルダを作成し、設定ファイルの `TEMPLATES` を修正します。

settings.py

```
TEMPLATES = [
    {
        'BACKEND': 'django.template.backends.django.DjangoTemp
        'DIRS': [os.path.join(BASE_DIR, 'templates')], #★ここを
        'APP_DIRS': True,
        'OPTIONS': {
            'context_processors': [
                'django.template.context_processors.debug',
                'django.template.context_processors.request',
                'django.contrib.auth.context_processors.auth',
                'django.contrib.messages.context_processors.me
            ],
        },
    ],
```

```
    },  
]  

```

そしてtemplatesフォルダにstaticと同様に  
contrib/admin/templates 以下のディレクトリをそのまま  
コピーします。Ver2.0.3ではこうなりました。

```
project-root  
└─templates  
    ├─admin  
    │   ├─auth  
    │   │   └─user  
    │   ├─edit_inline  
    │   ├─includes  
    │   └─widgets  
    └─registration
```

試しに /templates/admin/base.html を修正してみます。

base.html

```
<-- 39行目付近 -->  
{% if site_url %}
```



```
<a href="{{ site_url }}">アプリに戻る</a> /  
{% endif %}
```

もともと「サイトを表示」という表示でしたが、「アプリに戻る」に変更されました。



上の手順でstaticとtemplatesのファイルを丸ごとコピーしましたが、実際は変更するファイルだけでOKです。